

露店等開設時のチェックシート

祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の者が集合する火気を取扱うイベント等を主催する者、火気を使用する露店等を開設する者及び従事者は、次の事項に留意し安全なイベントの計画・運営に努める。

店 名	
代 表 者	
電 話	

○露店等の設営について

- 防火水槽、消火栓等の使用に支障がなく、避難を妨げない場所である。
- 使用する機材等に不具合がない。
- 強風等でテントなどが倒壊しないように固定している。

○消火器の準備について

- 火災時に速やかに使用することができる場所に設置している。
- 消火器を**対象火気器具等（※）**から歩行距離20m以内に設置している。
- 消火器は、腐食がなく、使用期限内である。
- 消火器の使い方を確認している。

○調理用の対象火気器具等について

- 調理用の対象火気器具等と周囲の可燃物の間に、不燃材料の仕切りを設けている。
※調理用の対象火気器具等の使用により可燃物の温度が上昇しないよう十分な距離が保たれている場合は必要ありません。
- 調理用の対象火気器具等は、安定した不燃性の床、床上又は台上で使用している。
- カセットこんろで使用する調理器具の大きさは、ボンベの装着部を覆わない程度の大きさである。
- カセットボンベは、正しく装着されている。
- カセットボンベは、ボンベ自体の温度が上昇しない場所に保管している。
- 木炭は、使用後の残火及び取灰の処理を完全に行い、取灰をみだりに捨てない。

○発電機、石油ストーブ等の液体燃料を使用する対象火気器具等について

- 事前に燃料を十分給油している。（できる限り催しの開催中に燃料を補給しないで済むよう準備しておく。）

裏面へ続く

<input type="checkbox"/>	燃料を補給するときは、風通しが良く、可燃性蒸気が滞留するおそれのない場所で、周囲に人がいないこと及び火気がないことを確認した上で給油する。
<input type="checkbox"/>	給油をするときは、こぼさないよう十分注意し、対象火気器具等が稼動している状態での給油は絶対に行わない。
<input type="checkbox"/>	使用場所は、可燃性ガスが滞留するおそれのない場所である。
<input type="checkbox"/>	使用場所は、容易に転倒又は落下するおそれのない、安定した平らな場所である。
<input type="checkbox"/>	燃料漏れがない。

○LPGボンベについて

<input type="checkbox"/>	ボンベは、直射日光及び火気の近くを避けた場所に設置している。
<input type="checkbox"/>	ボンベは、縦置きにしている。(絶対に横置きにしない。)
<input type="checkbox"/>	ボンベは、倒れないように固定し、関係者以外の人のみだりに近づけない場所に置いている。
<input type="checkbox"/>	ボンベは、一日に必要な最小限の本数のみ準備している。
<input type="checkbox"/>	ボンベと対象火気器具を接続するゴム製のホースは、LPガス専用のものを使用している。
<input type="checkbox"/>	ホースの長さは、使用する対象火気器具等に応じた適切な長さである。
<input type="checkbox"/>	ゴム製ホースは、ガス漏れがないか点検し、古くなったものやひび割れがあるものを使用していない。
<input type="checkbox"/>	ホースが容易に外れないように、ホースバンド等で固定している。

○ガソリン等の危険物の貯蔵・取扱いについて

<input type="checkbox"/>	準備している危険物の量は指定数量の5分の1未満であり、かつ、必要最小限の量としている。 (例：ガソリン 指定数量は200リットル、指定数量の5分の1は40リットル)
<input type="checkbox"/>	危険物容器のキャップを開ける前には、圧力弁等を操作して緩やかに圧力を抜く。
<input type="checkbox"/>	危険物容器は、直射日光及び火気の近くを避け、温度が上昇しない場所に置いている。

(※) 対象火気器具等とは、火を使用する器具又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある器具のことです。

【例】 ガスグリル、コンロ、フライヤー、ホットプレート、炭火焼き鳥器、石油ストーブ、電気ストーブ、携帯発電機等